

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	上級プログラミング		
英文授業科目名	Advanced Programming		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	稲見 昌彦		
居室	東4-603(稲見)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
inami@computer.org	

<b>【主題および達成目標】</b>
「基礎プログラミングおよび演習」の次のステップとして構造体，ポインタなどC言語のより高度な機能について学ぶことを目的とします．

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
基礎プログラミングおよび演習

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特に無し

<b>【教科書等】</b>
特に無し

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 基本の復習</li> <li>3. 制御文の復習</li> <li>4. 制御文の演習</li> <li>5. 配列の復習</li> <li>6. 関数の復習</li> <li>7. 関数の復習 &amp; ポインタ</li> <li>8. ポインタの演習</li> <li>9. 構造体の復習</li> </ol>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

- 10.構造体・ファイル入出力
- 12.最終課題
- 13.最終課題
- 14.最終課題

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

提出された課題の内容(授業態度を含む)を重視し、これに最終課題の結果を加味して成績を評価します。

(b) 評価基準：

授業に2/3以上出席したうえで、他人が書いたC言語のソースコードの内容を理解でき、UNIX環境下において独力でC言語のプログラムをある程度自由に作成できることを合格の最低基準とします。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、E-mailなどで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

### 【その他】

授業には総合情報処理センターの情報処理教育システムのアカウントを使用するので、パスワードの更新を忘れないようにしてください。